

東京港における2020大会への取組について

2020年2月13日



1. 東京港の概要

(1) 取扱貨物量の動向

(2) コンテナふ頭の整備と道路ネットワークの強化

2. 東京港における2020大会への取組について

(1) 大会時の交通混雑の状況

(2) 交通量の削減目標

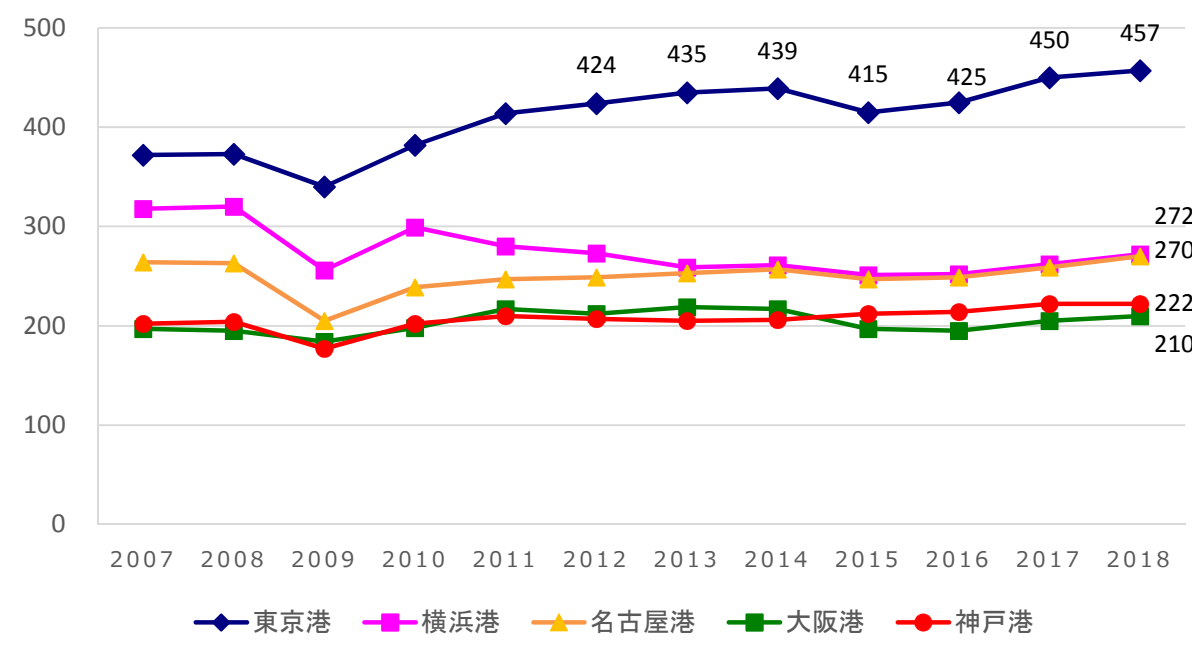
(3) 荷主の皆様へのお願い

(4) 東京港における取組

外貿貨物取扱量の推移

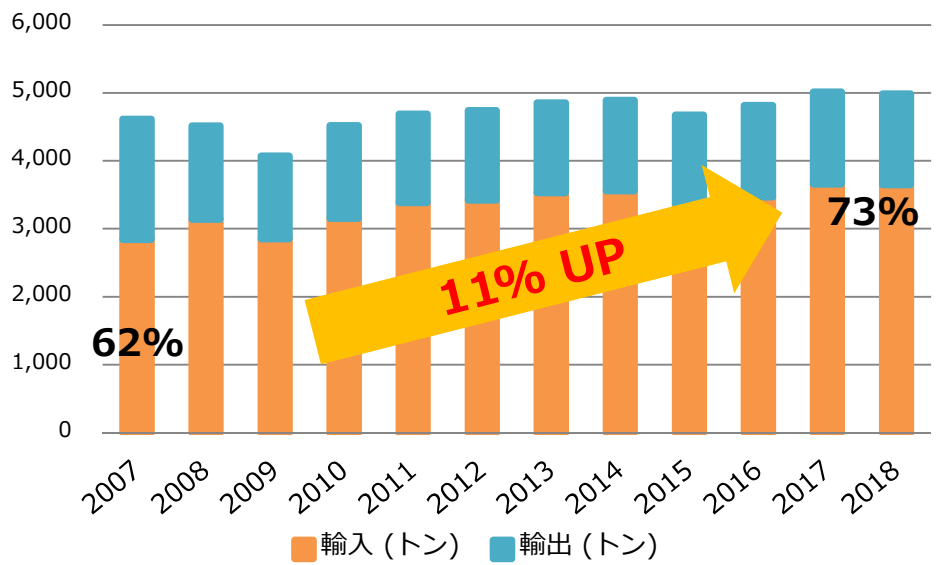
単位：
万TEU

五大港コンテナ取扱量の推移



単位：
10,000トン

輸入貨物割合の拡大



ヤードの効率的利用

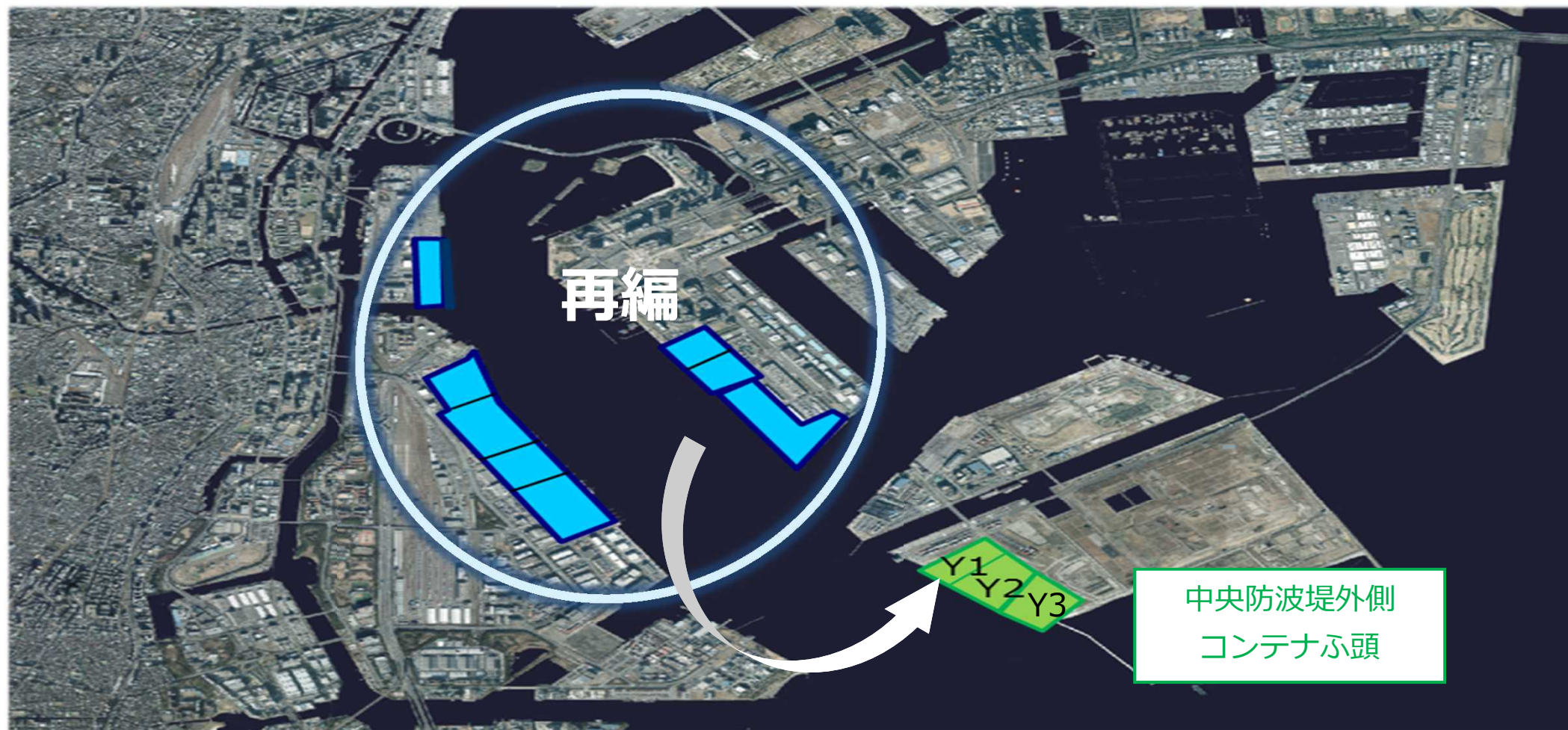
ヤードの効率的利用の比較 (2018年実績より貨物量÷コンテナヤード面積にて算出)

	東京	横浜	名古屋	大阪	神戸	Los Angeles	Long Beach	Hamburg
TEU/m ²	3.00	1.29	1.67	1.70	1.58	1.33	1.48	1.98

○ コンテナふ頭の計画



○ 既存コンテナふ頭の再編・再整備



コンテナふ頭全体の効率性・生産性を向上

○ 新たなコンテナふ頭の整備・再編の着手

- ・ 本年春 Y 2 使用開始
- ・ 令和 2 年度 青海コンテナふ頭の再編に着手
- ・ 令和 6 年度 Y 3 整備完了予定
- ・ 順次、品川・大井コンテナふ頭の再編にも着手

中央防波堤外側コンテナターミナル
完成パース図 (Y1・Y2)



	Y1 (2017.11.1供用開始)	Y2 (整備中※)	Y3 (整備中)
バース延長	230m	400m	400m
面積 (含岸壁)	約13ha	約20ha	約25.2ha
クレーン数	3	3	—
水深	-11m	-16m	-16m

※岸壁は2017.11.1供用開始

**14,000TEU級の大型船に
対応した東京港で初の水深
16mの高規格バースを整備**

○ 幹線道路の整備



東西方向の強化

国道357号の開通
(2019.6月東京港
トンネル開通済)

南北方向の強化

臨港道路南北線
東京2020大会までに
完成予定

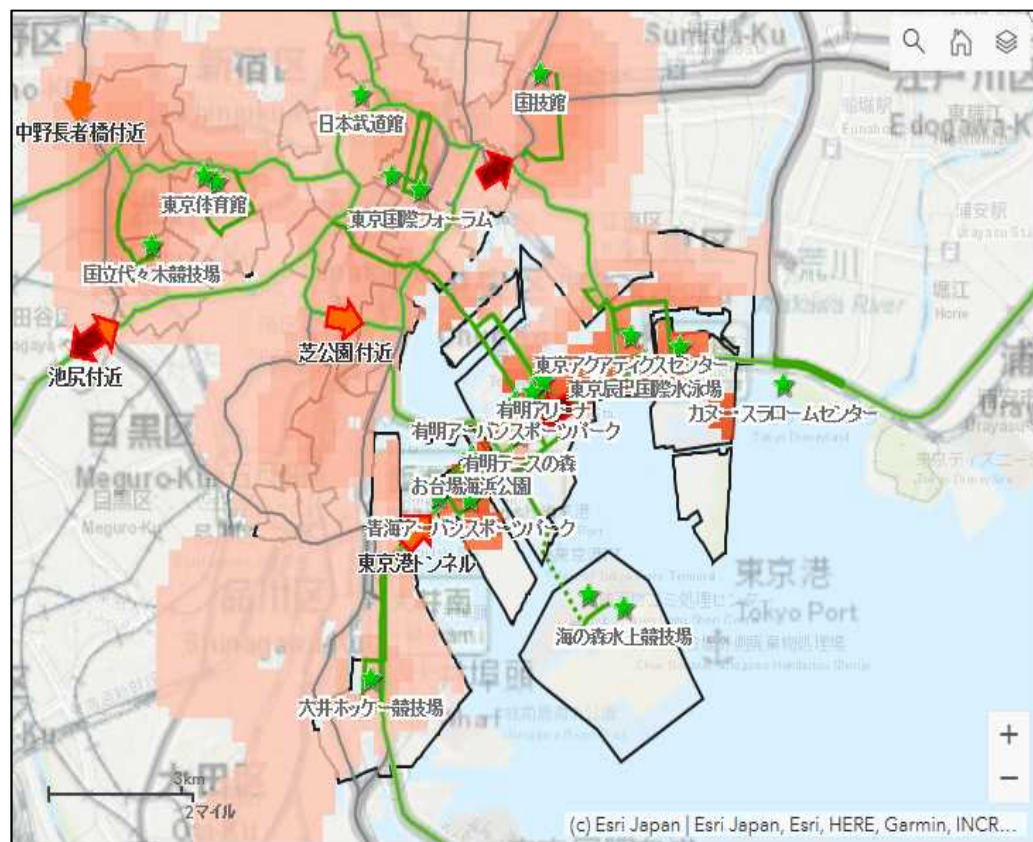
中央防波堤外側

ふ頭背後道路の
車線の拡幅
(今年度末完成予定)

東京港の東西方向、南北方向の道路ネットワークを整備し
東京港の物流機能を一層強化

大会輸送影響度マップ°（抜粋）

2020/7/31（金）13:00～14:00



日中は、相当数の
大会関係車両が走行し、
交通混雑が発生

出典：（大会輸送影響度マップ）URL:<https://2020tdm.tokyo/map/>

This map illustrates the Tokyo Bay area, highlighting the locations of Olympic venues and the transportation routes connecting them. The map includes the following elements:

- Legend:**
 - 外貿コンテナふ頭 (Outer Trade Container Terminal): Purple rectangle
 - 外貿在 (Outer Trade In): Blue rectangle
 - 一般道 (General Road): Red line
 - 高速道 (Expressway): Dashed black line
 - 港湾関 (Port/Gateway): Green line
 - オリンピック (Olympic): Red circle
 - 大会関 (Convention): Yellow circle
- Key Locations and Routes:**
 - 品川コンテナふ頭 (Shinagawa Container Terminal):** Located near Shinagawa Station, connected to the main area by the **品川線 (Shinagawa Line)** (green line).
 - 大井コンテナふ頭 (Ohtsuka Container Terminal):** Located near Ohtsuka Station, connected to the main area by the **大井線 (Ohtsuka Line)** (green line).
 - 青海コンテナふ頭 (Aomori Container Terminal):** Located near Aomori Station, connected to the main area by the **青海線 (Aomori Line)** (green line).
 - 臨港道路南北線 (Rinko Road North-South Line):** A red line connecting the main area to the **新木場 (Shimbashi)** area.
 - 国道357号 西行き・東行き (National Route 357 Westbound/Eastbound):** A red line connecting the main area to the **品川 (Shinagawa)** area.
 - 中央防波堤外側 (Central Breakwater Outer Side):** A green line connecting the main area to the **新木場 (Shimbashi)** area.
- Other Features:**
 - 品川線 (Shinagawa Line):** A green line connecting Shinagawa to the main area.
 - 大井線 (Ohtsuka Line):** A green line connecting Ohtsuka to the main area.
 - 青海線 (Aomori Line):** A green line connecting Aomori to the main area.
 - 品川線 (Shinagawa Line):** A green line connecting Shinagawa to the main area.
 - 大井線 (Ohtsuka Line):** A green line connecting Ohtsuka to the main area.
 - 青海線 (Aomori Line):** A green line connecting Aomori to the main area.

※東京港の1日のトラック
走行台数は延べ1万台

-  外貿コンテナふ頭
-  外貿在来ふ頭、内貿ふ頭
-  一般道 大会ルート(案)
-  高速道路 大会ルート(案)
-  港湾関係車両の主な輸送道路
-  オリンピック競技施設・関連施設
-  大会関係車両基地

大会期間中は交通混雑により

- ・東京港にトラックが着かない
- ・貨物が配送先に届かない

などの深刻な遅延のおそれがあります



※TDM推進プロジェクトによる目標

都心部に出入りする交通量の

30%減※

を目指す必要があります



大会時の円滑な港湾物流確保に向け 「減らす」・「変える」 にご協力ください

減らす

大会期間中における貨物量の抑制をご検討ください

- 時期の変更（輸出入のタイミングを大会前に前倒し、または大会後に後ろ倒し）
- 長期蔵置貨物の解消（コンテナターミナルからの輸入貨物の早期引取）

変える

時間の変更やルートの変更をご検討ください

- 大会関係車両を避けた早朝・夜間の輸送、それに伴う出荷・納品時間の変更
- 混雑するルートを避けた迂回輸送
- フィーダー船の利用等による輸送ルートの変更（陸路を使用しない）

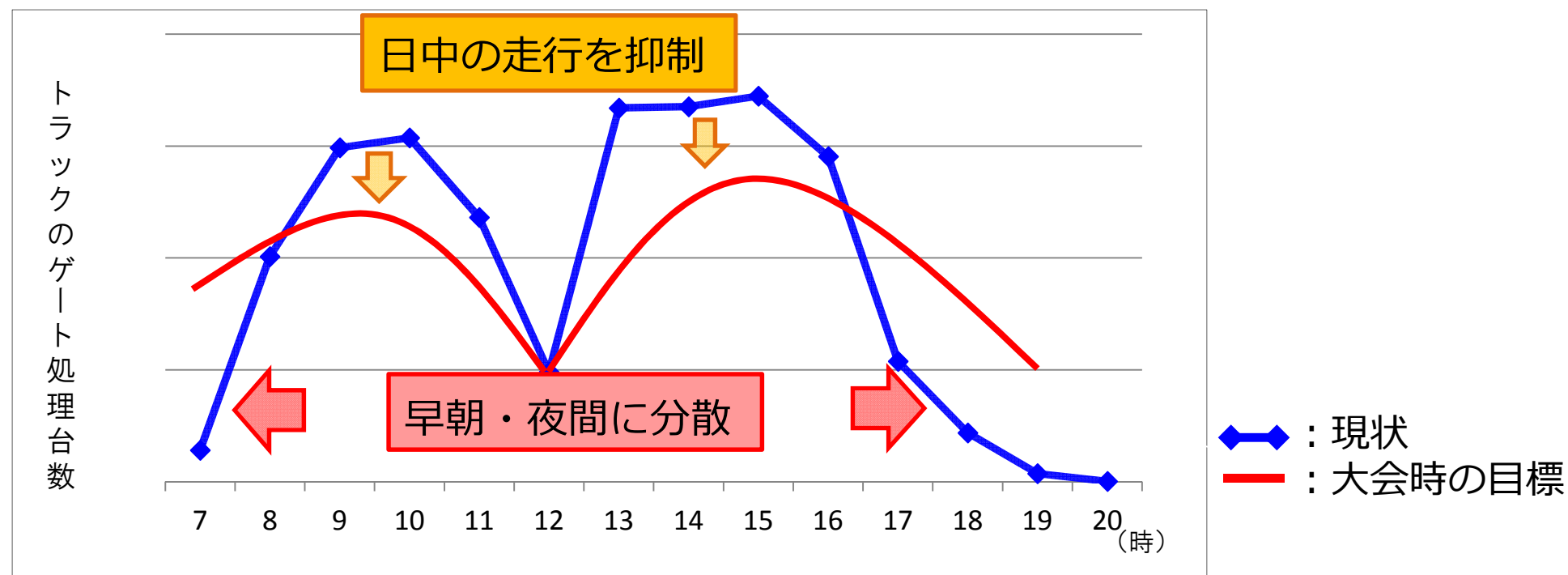


- ① コンテナターミナルのゲートオープン時間の拡大
- ② 24時間利用可能な一時保管場所の設置
- ③ 臨海部混雑マップの提供
- ④ ふ頭周辺の交通状況をリアルタイムで配信
- ⑤ 長期蔵置貨物の解消
- ⑥ トラックから船舶等への転換
- ⑦ リーフアーコンテナの需要増への対応
- ⑧ 臨時貨物置場の設置

大会時の取組について今年度中に取りまとめて公表

東京港のコンテナターミナル及びバンプールで、大会期間中に加え、貨物の増が見込まれる大会前後の期間においても、貨物の搬出入時間を拡大【公表予定：2月】

【イメージ】東京港全ターミナルにおける1時間ごとのゲート処理台数



日中のトラックの走行を抑制・分散

②24時間利用可能な一時保管場所の設置

Port of Tokyo



24時間利用可能な貨物の一時保管場所（ストックヤード）を4か所（約600台分）設置 【募集要項公表：4月】

〈概要〉

【利用料】無料

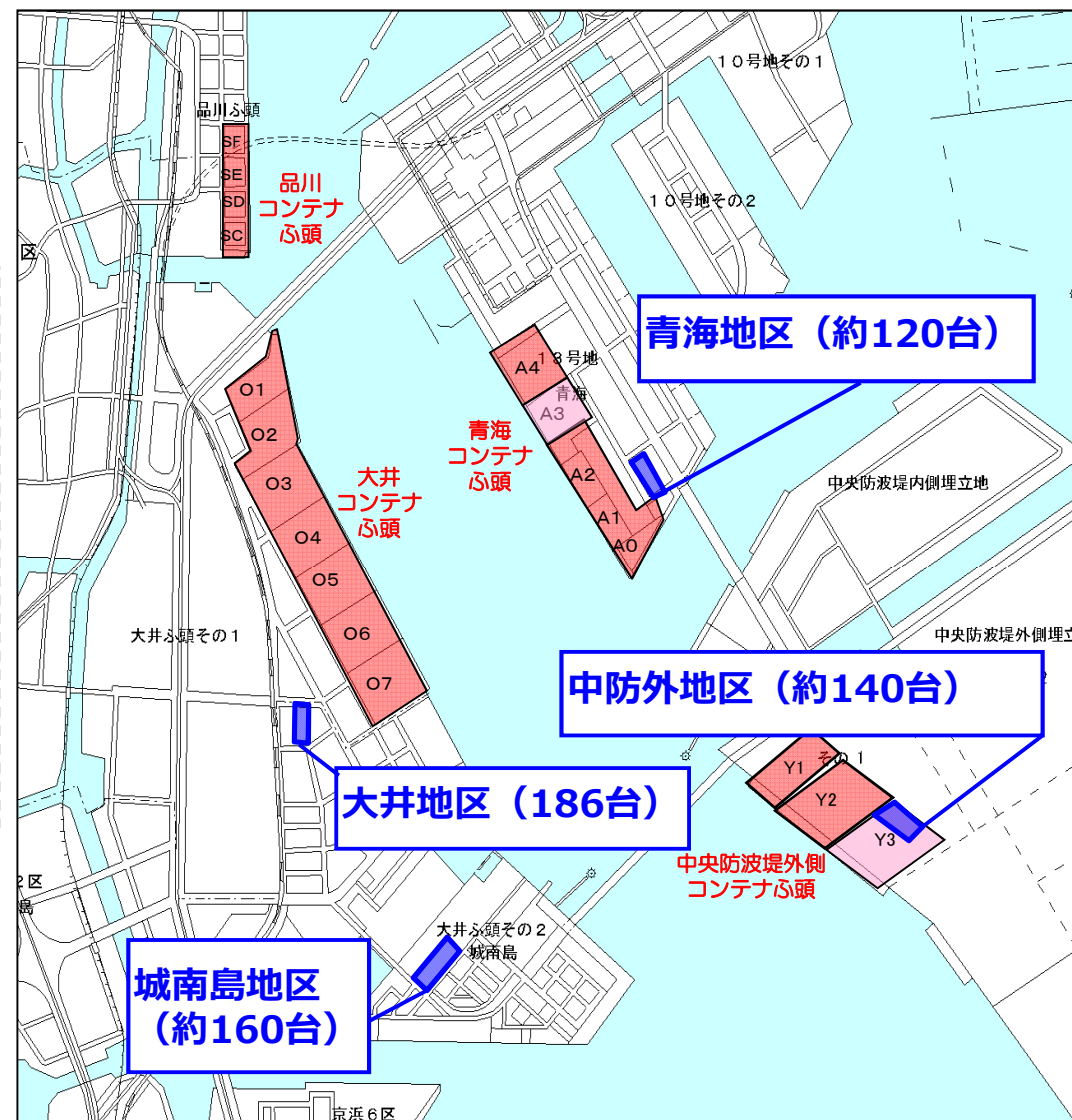
【今後のスケジュール】

令和2年1月30日	第2回実証実験（大井）終了
2月	第2回実証実験結果検証
4月	募集要項発表・募集開始
5月	区画利用者の決定

7月1日～9月30日 スtockヤード運用予定

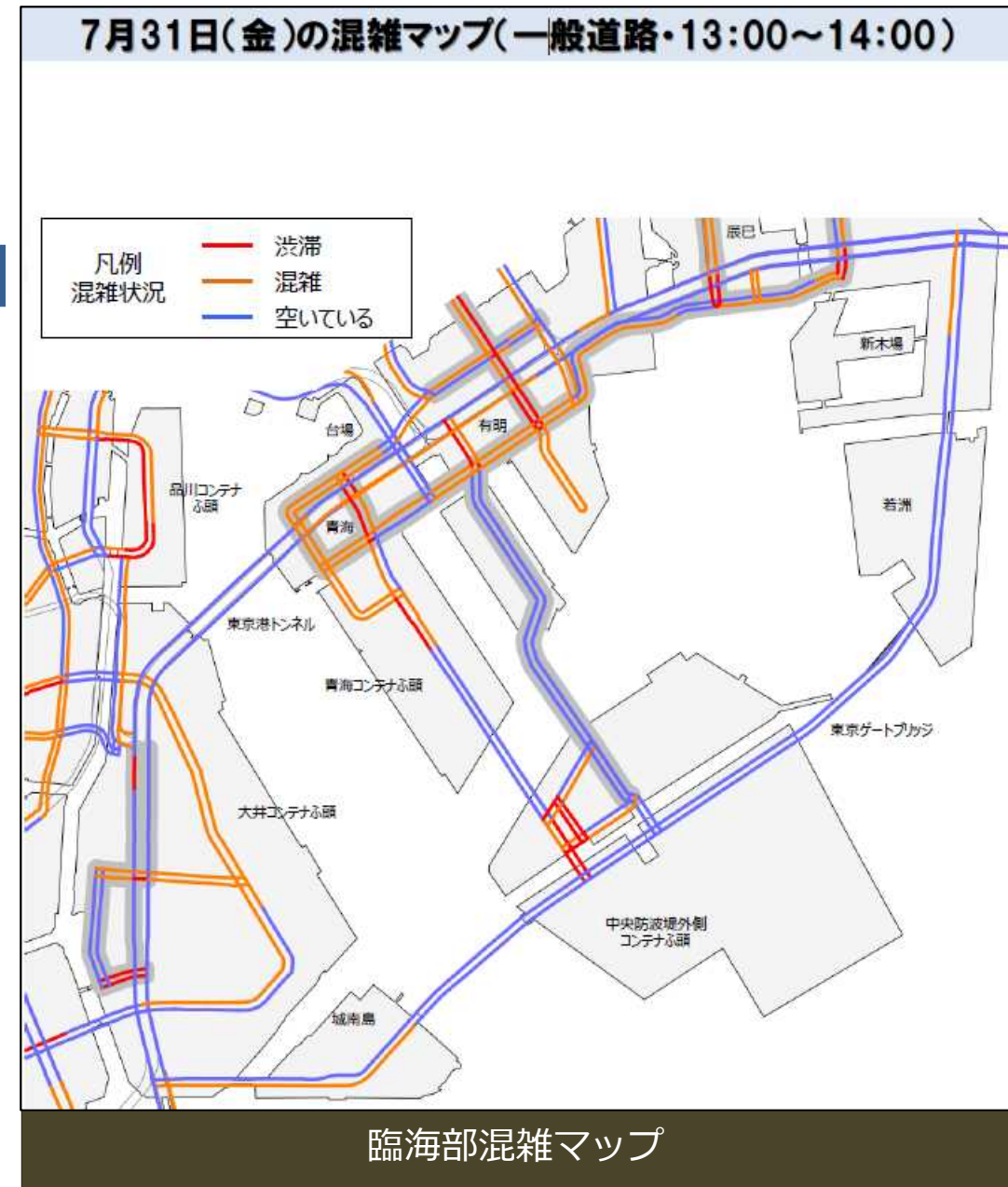
混雑の少ない早朝・夜間の貨物
配送を促進し、トラックの走行
時間帯を分散

〈設置予定場所〉



臨海部の主要道路ごとの混雑
予測を公表【更新予定：2月】

混雑するルートや時間帯を
避けたトラックの走行を促進



④ふ頭周辺の交通状況をリアルタイムで発信

トラック事業者向けに設置したWEBカメラを増設【今年度中】

〈25基→40基（予定）〉

現在のWEBカメラ映像（青海）



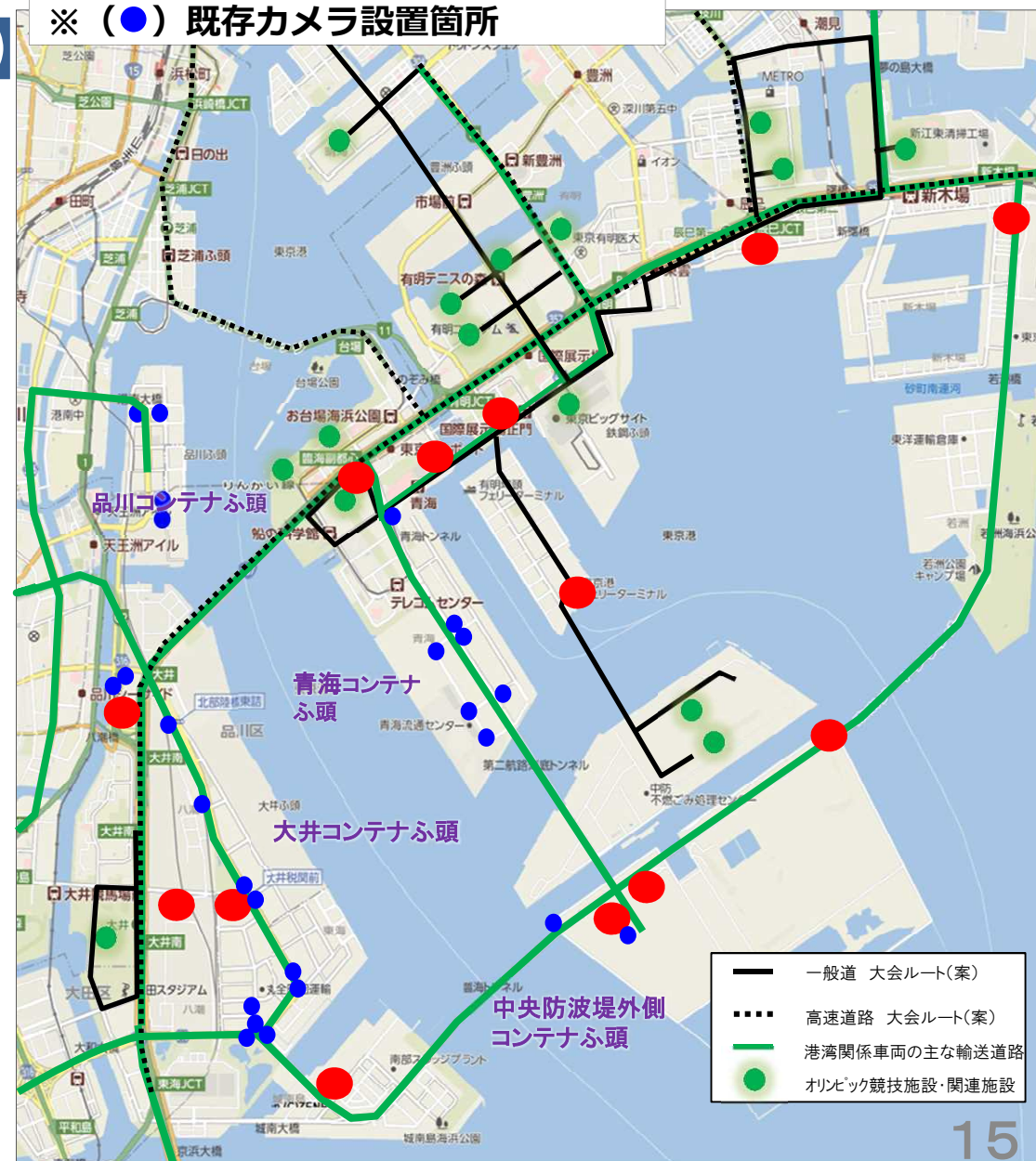
※ WEBカメラの映像は東京港ポータルサイトで閲覧可能 <https://www.portal-tokyoport.jp/>

**混雑する道路・時間帯を避けた
トラックの走行を促進**

WEBカメラ増設予定箇所（●）

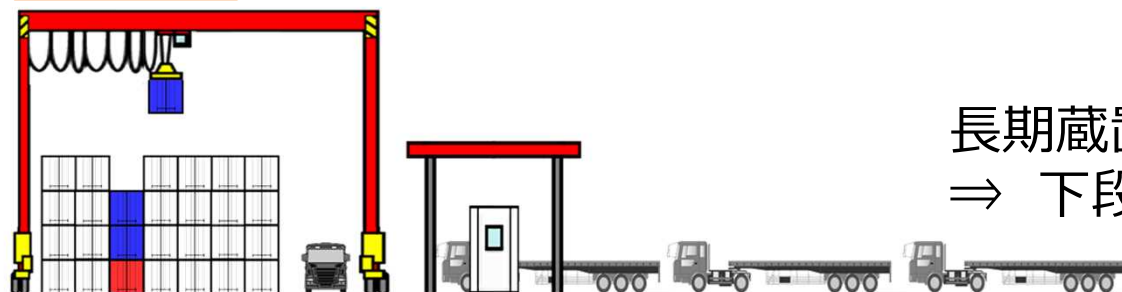
※ 13か所・15基増設予定

※（●）既存カメラ設置箇所



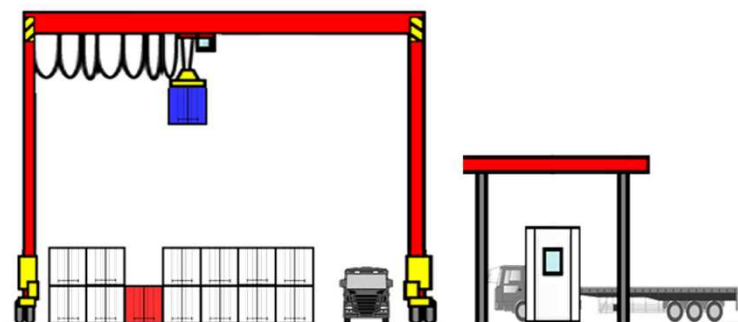
貨物の早期搬出やデマレージの適切な適用について国と連携し、荷主や船社の皆様に協力依頼【実施中】

現状



長期蔵置によるコンテナの多段積みが発生
⇒ 下段のコンテナ(赤)を取り出すのに時間がかかる

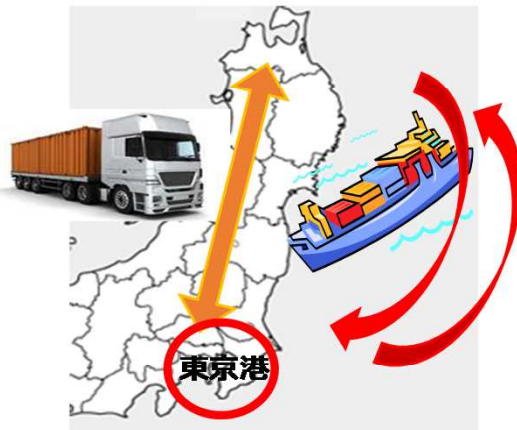
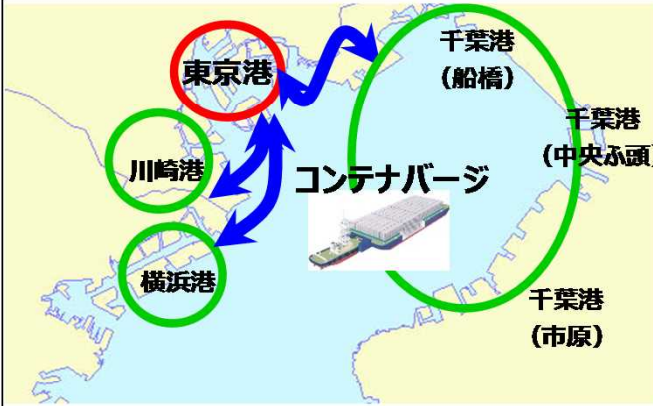
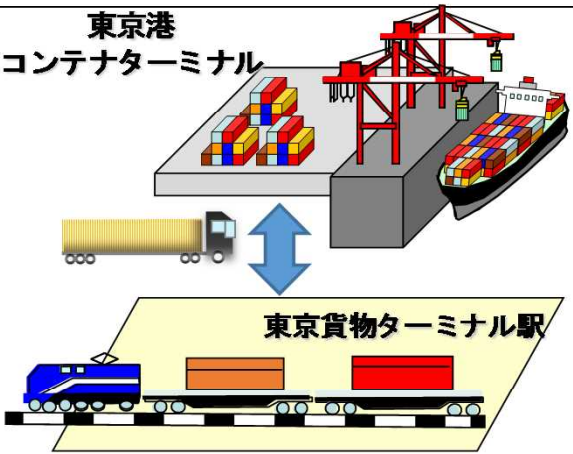
解消後



コンテナの段数が少ない
⇒ 下段のコンテナ(赤)をスムーズに取り出せる

荷役効率の改善による交通混雑の緩和

トラックから船舶・鉄道への利用の転換を支援【実施中】

	フィーダー輸送	はしけ横持輸送	港内横持輸送
対象	東京港を利用する船舶運航事業者	東京港のはしけ横持輸送を依頼する者	東京港の港内横持輸送を依頼又は営む者
概要			
補助額	1 FEUあたり 実入りコンテナ：3,000円 空コンテナ：2,000円	1 FEUあたり 実入りコンテナ：2,000円 空コンテナ：1,000円	1 輸送あたり2,000円

※ 更に大会期間中（令和 2 年 7 月～ 9 月）は予算を増額し、対応

※令和 2 年度予算が東京都議会で可決された場合に確定

東京都内を走行するトラックの減少を推進

ターミナルで借り上げる発電機のリース料を支援 【募集要項公表：4月】

事項	内容
補助対象	東京港（大井・青海・品川・中防外）外貿コンテナターミナル借受者、 又は 借受者の同意を得た港湾運送事業者（ターミナルオペレーター）
補助対象期間	令和2年5月頃～9月頃

※令和2年度予算が東京都議会で可決された場合に確定

＜発電機イメージ＞



**コンテナヤード内で不足するリーフアーコンセントを補完し、
東京2020大会期間中も安定した物流機能を維持**

臨時の貨物蔵置スペースを 2か所設置

青海 【運用開始：4月下旬】

【実施場所】 A 3ターミナル（約11ha）の一部

【実施時期】 令和2年4月下旬 ～ 令和2年11月

【対象貨物】 実入コンテナ（ドライ、リーファー）
及び空コンテナ

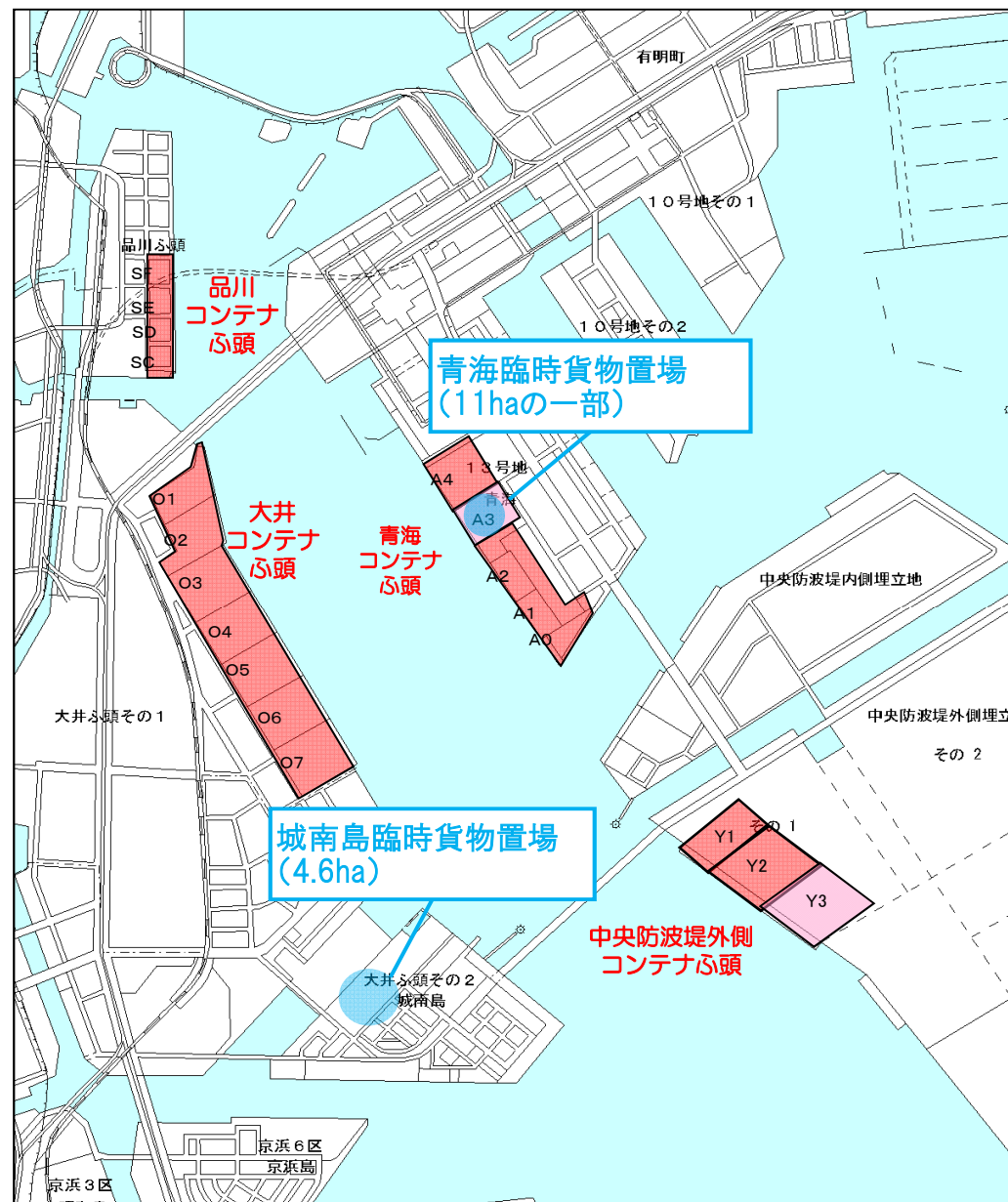
城南島 【運用中】

【実施場所】 城南島バン・シャーシープール跡地
（約4.6ha）

【実施時期】 平成30年9月 ～ 令和3年3月

【対象貨物】 実入コンテナ（ドライ）及び空コンテナ

大会時のヤード内の貨物
蔵置量の増に対応



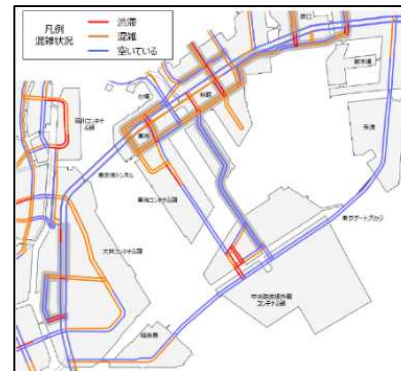
東京港の取組や大会関連情報について随時発信

東京港の取組

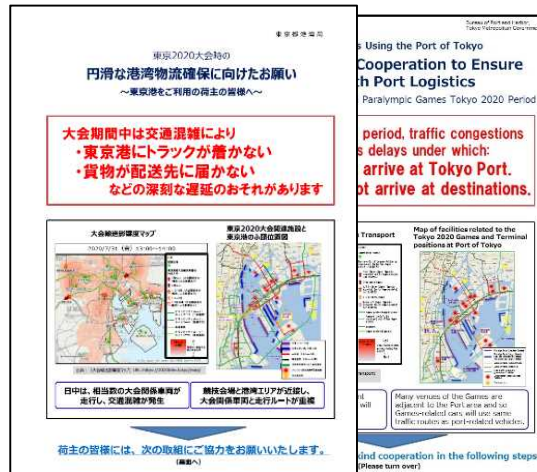
- 2-(4)東京港における取組
- ① コンテナターミナルのゲートオープン時間の拡大
 - ② 24時間利用可能な一時保管場所の設置
 - ③ 臨海部混雑マップの提供
 - ④ 浜頭周辺の交通状況をリアルタイムで配信
 - ⑤ 長期蔵置貨物の解消
 - ⑥ トラックから船舶等への転換
 - ⑦ リーファーコンテナの需要増への対応
 - ⑧ 臨時貨物置場の設置

メールマガジン 「物流通信」の配信

混雑マップ



リーフレット



英語版もあります

その他最新情報の 発信



<特設ホームページ>

東京2020大会に向けた東京港の取組
<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/tokyo2020torikumi/>



ご清聴ありがとうございました

